

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・2024農林水産物・食品の輸出額



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

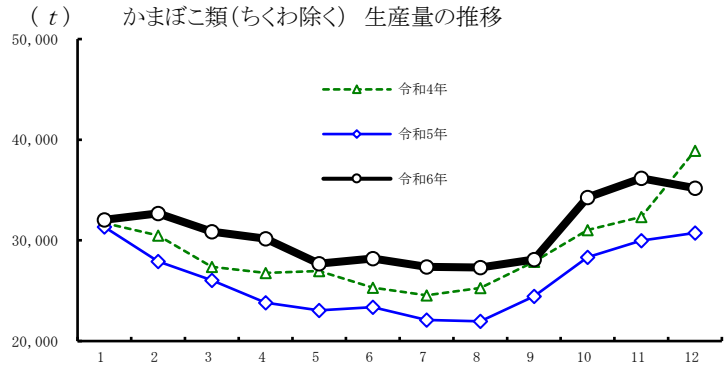
なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

かまぼこ類

生産量 対前年同月比

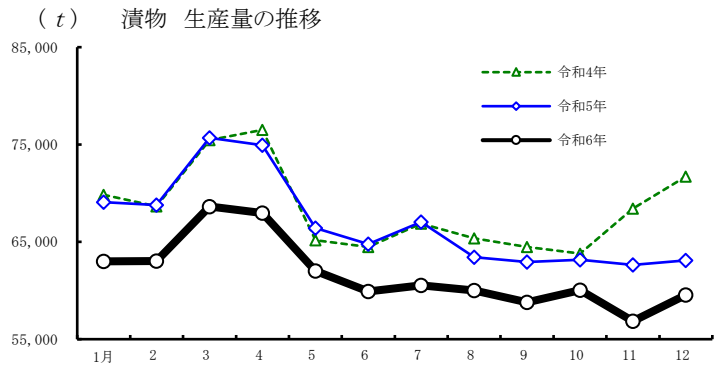
12月 14.5% 増加



漬物

生産量 対前年同月比

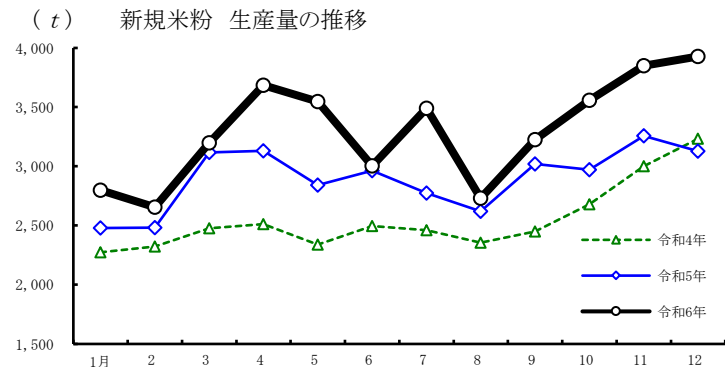
12月 5.7% 減少



新規米粉

生産量 対前年同月比

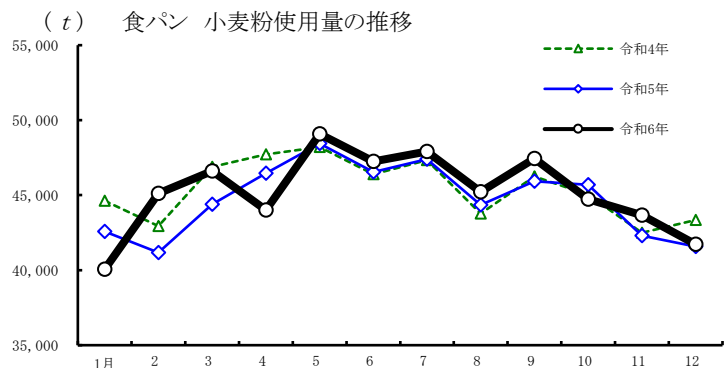
12月 25.5% 増加



食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

12月 0.4% 増加

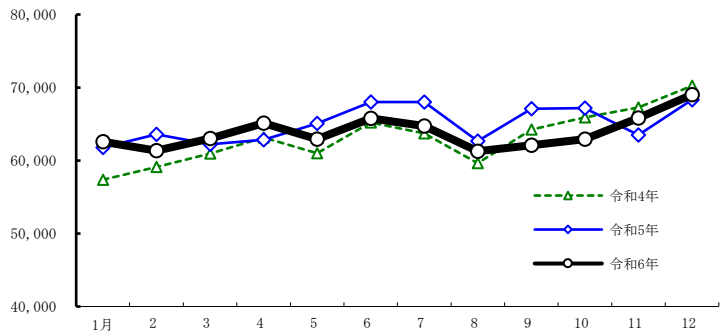


1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比
12月 1.0% 増加

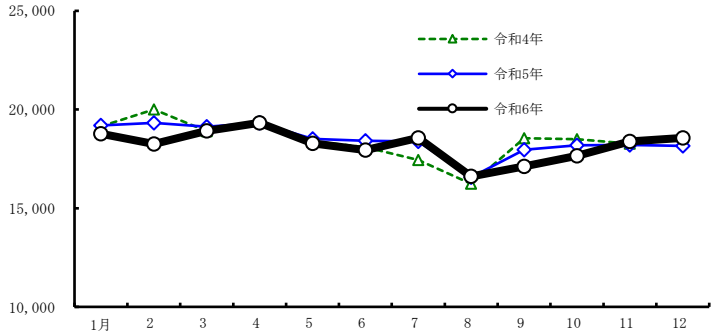
(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移



○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比
12月 2.3% 増加

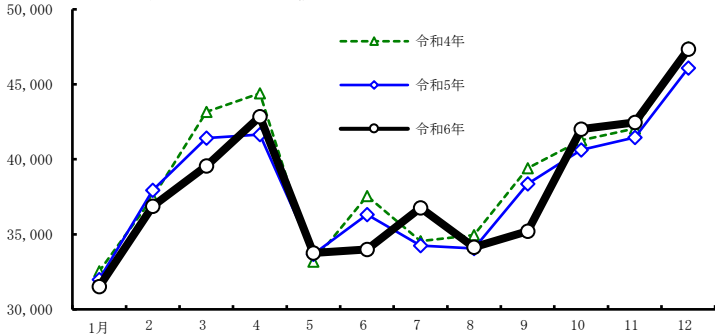
(t) カップめん 小麦粉使用量の推移



○ 味噌

生産量 対前年同月比
12月 2.7% 増加

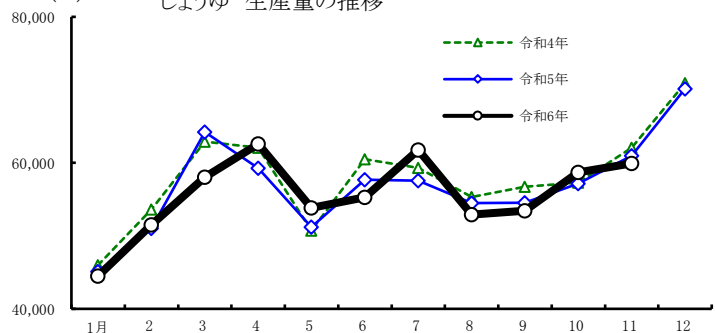
(t) 味噌 生産量の推移



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比
11月 1.7% 減少

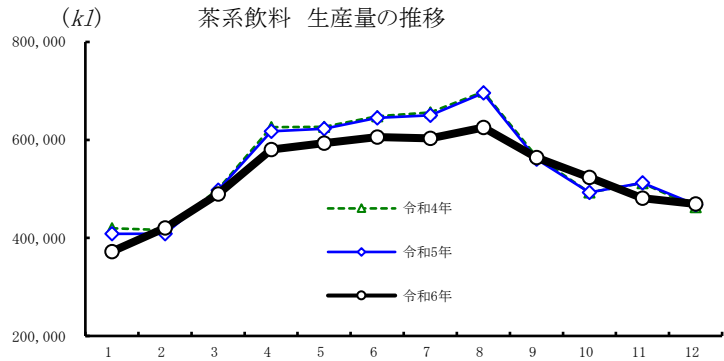
(kl) しょうゆ 生産量の推移



1. 加工食品の生産動向

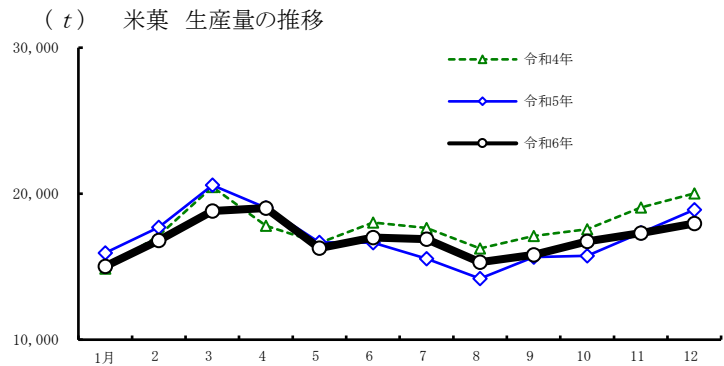
○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比
12月 0.2% 増加



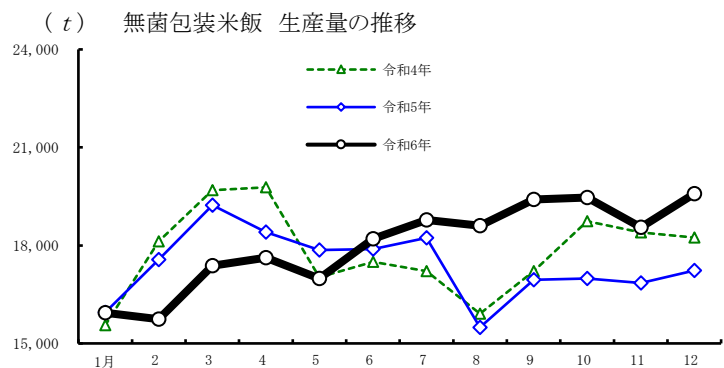
○ 米菓

生産量 対前年同月比
12月 5.0% 減少



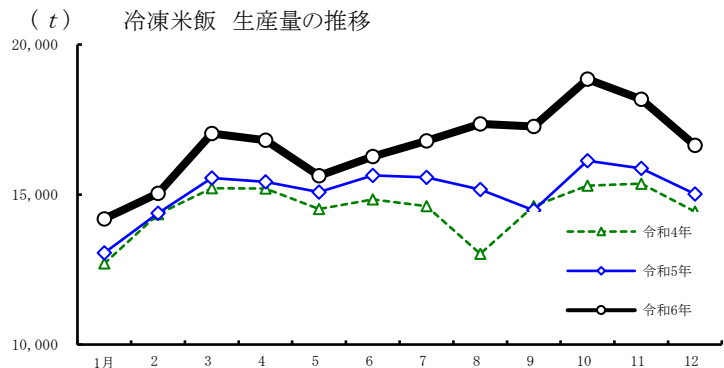
○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比
12月 13.6% 増加



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比
12月 10.8% 増加



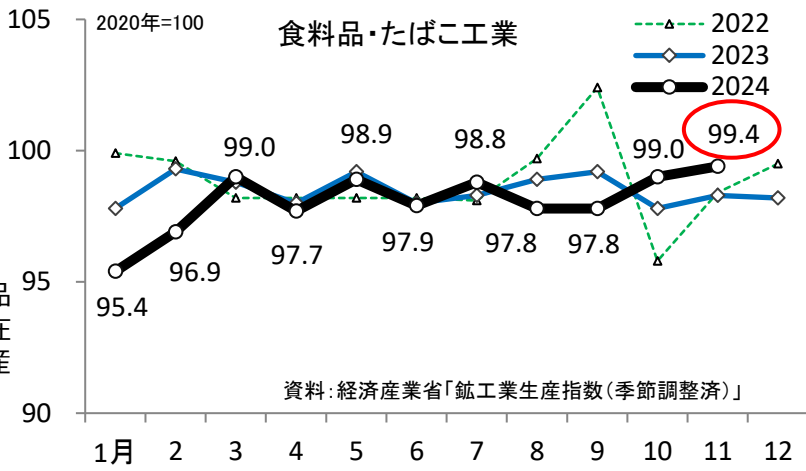
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

11月 1.1% 増加

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



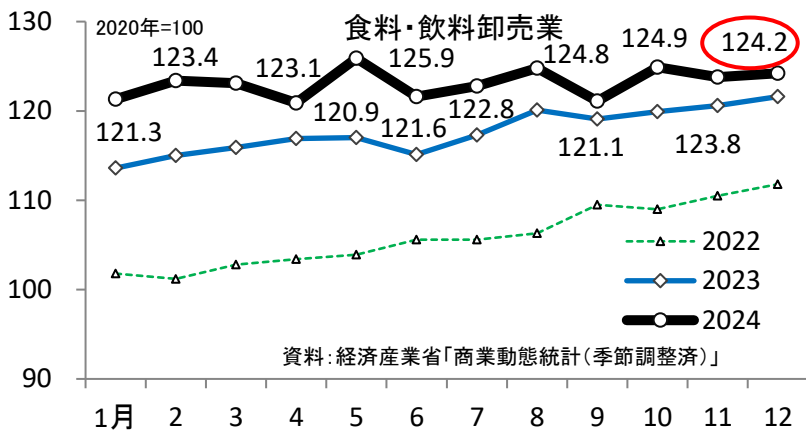
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

12月 2.1% 増加

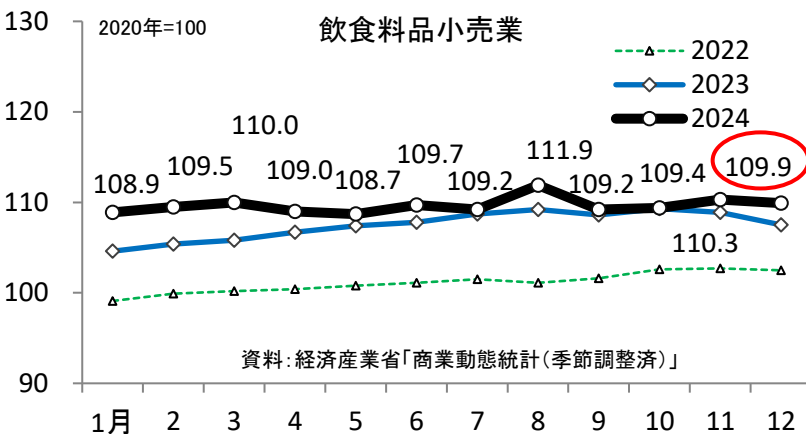
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

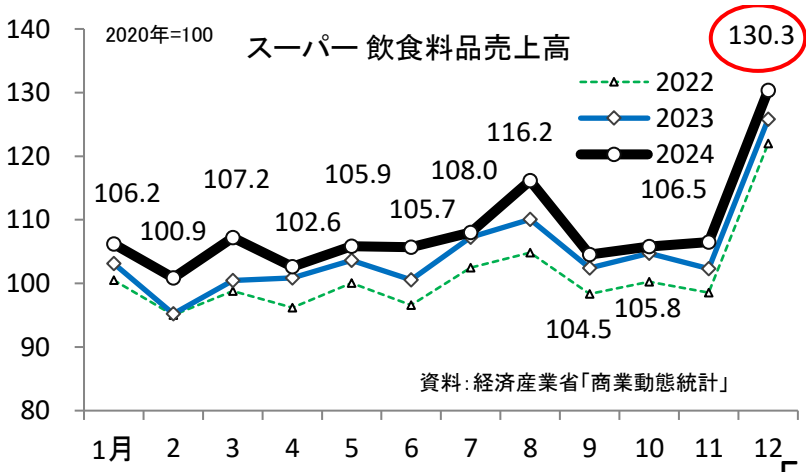
12月 2.2% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

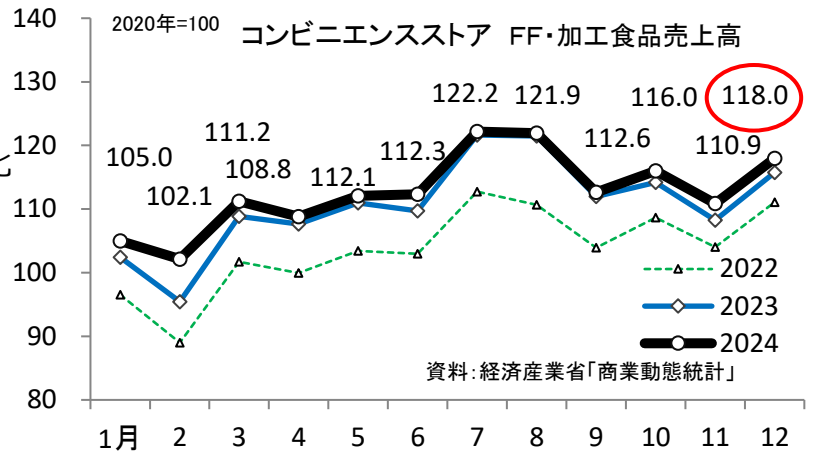
12月 3.6% 増加



2. 食品卸売業・食品小売業

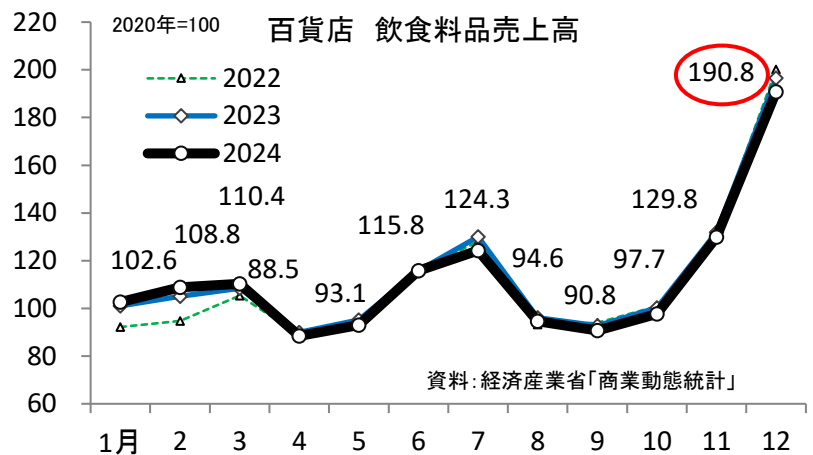
○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比
12月 1.9% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比
12月 3.0% 減少

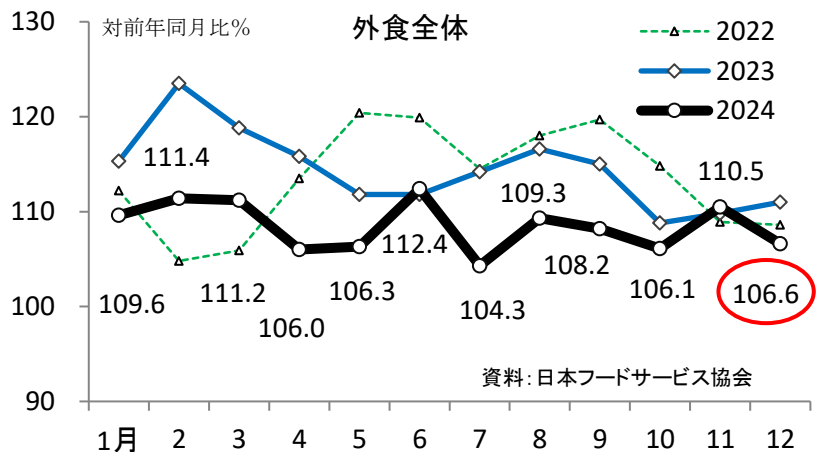


3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

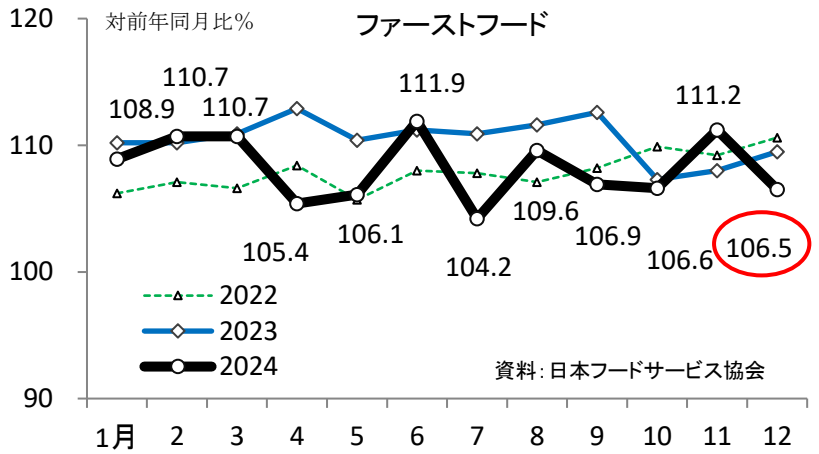
全店売上高 対前年同月比
12月 6.6% 増加



3. 外食産業

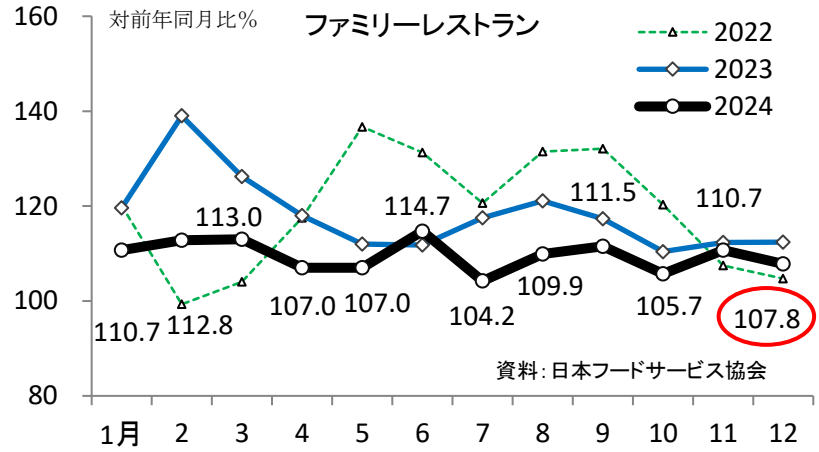
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
12月 6.5% 増加



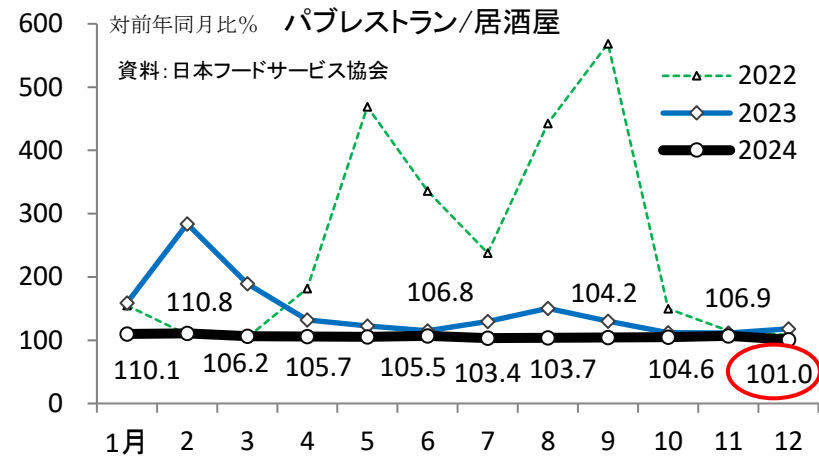
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
12月 7.8% 増加



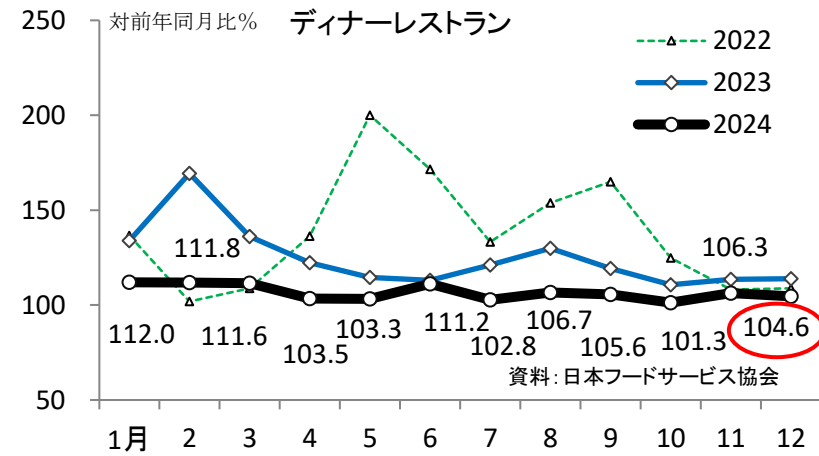
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
12月 1.0% 増加



○ ディナーレストラン

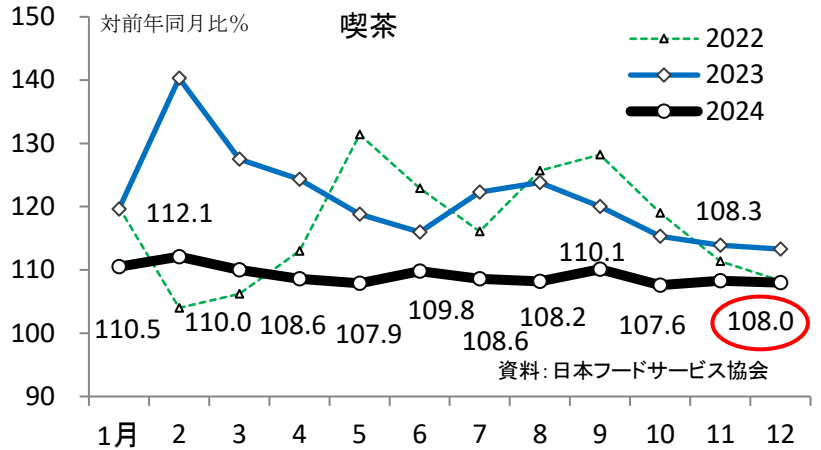
全店売上高 対前年同月比
12月 4.6% 増加



3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比
12月 8.0% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、
 現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

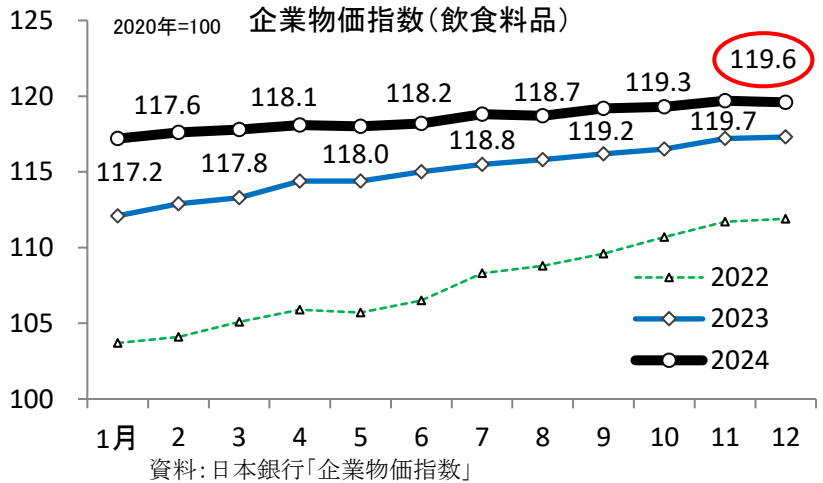
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

12月 2.0% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の
 変動を時系列的に測定するもの。

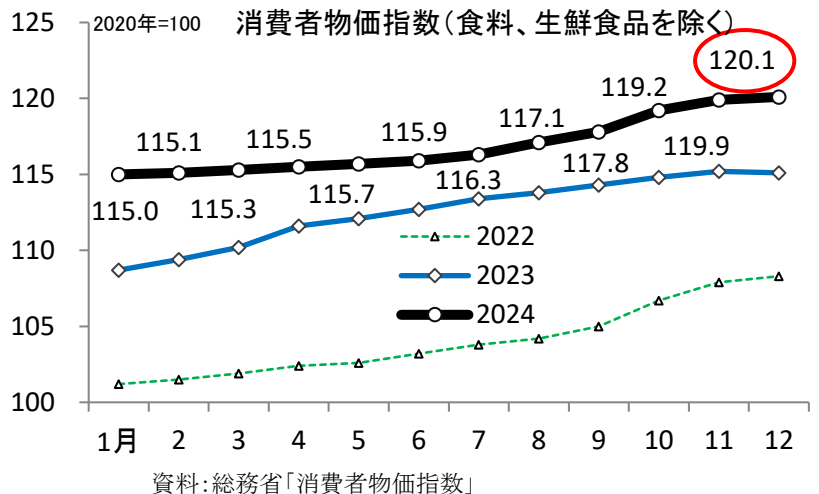
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

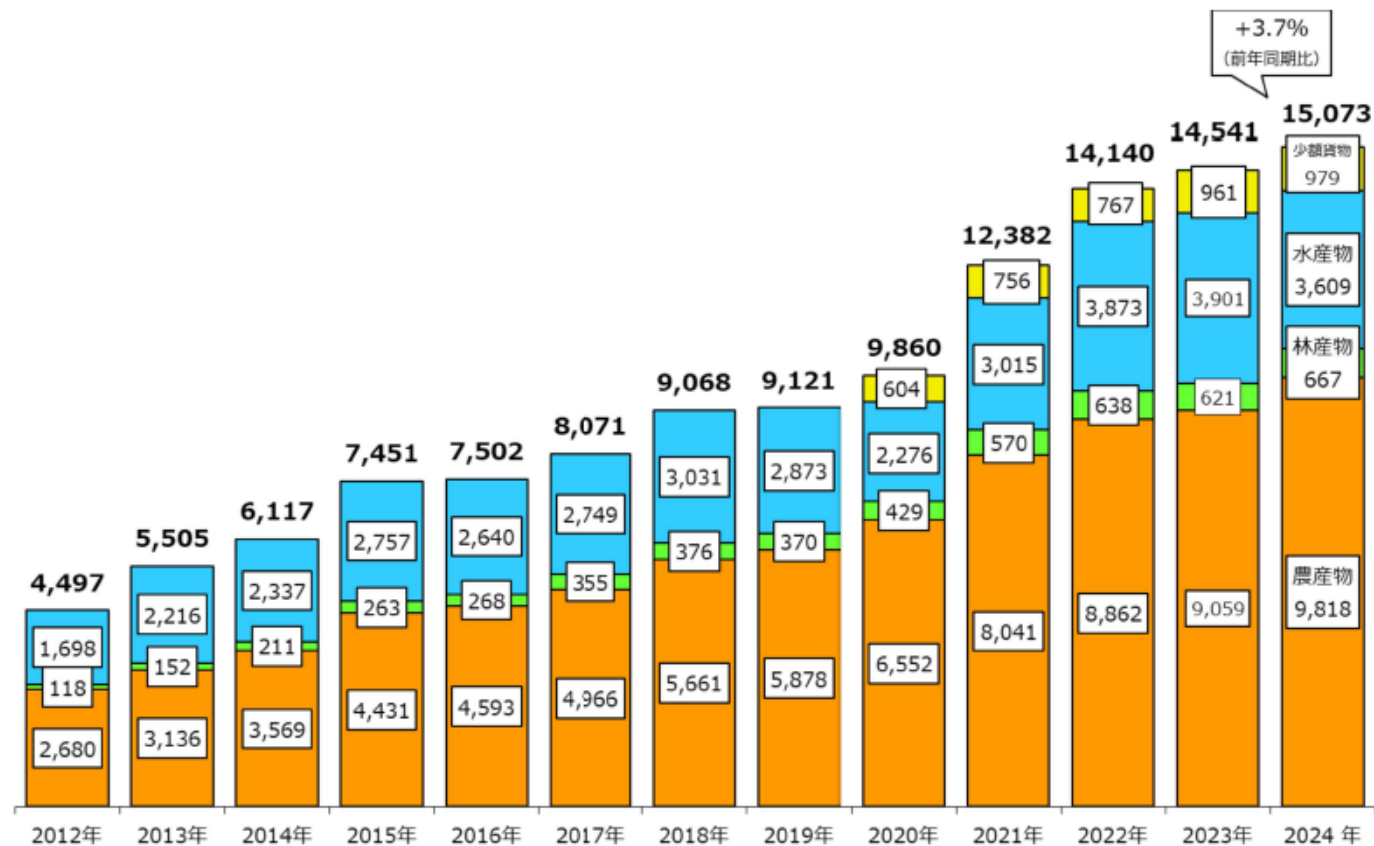
12月 4.3% 上昇



農林水産物・食品 輸出額の推移

農林水産省
輸出・国際局

(単位: 億円)



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2024年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局

順位	輸出先	2024年1-12月 (累計)				2024年12月 (単月)						
		輸出額 (億円)	金額 構成比 (%)	前年 同期比 (%)	輸出額内訳 (億円)			輸出額 (億円)	前年 同期比 (%)	輸出額内訳 (億円)		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	アメリカ合衆国	2,429	17.2	+17.8	1,614	74	741	263	+34.2	174	7	83
2	香港	2,210	15.7	▲ 6.6	1,311	16	883	218	+6.2	144	2	72
3	台湾	1,703	12.1	+11.2	1,309	43	351	227	+17.9	184	4	38
4	中華人民共和国	1,681	11.9	▲ 29.1	1,293	326	61	181	+13.7	138	37	6
5	大韓民国	911	6.5	+19.8	592	39	280	111	+27.5	61	4	46
6	ベトナム	862	6.1	+23.7	516	7	339	95	+30.8	53	1	41
7	タイ	629	4.5	+23.1	307	10	312	56	+22.5	29	1	27
8	シンガポール	557	4.0	+1.7	461	6	89	53	▲ 0.5	42	1	10
9	オーストラリア	328	2.3	+5.6	290	3	35	29	+8.7	25	0.2	4
10	フィリピン	287	2.0	▲ 6.0	160	95	33	27	+18.1	13	10	3
-	E U	858	6.1	+18.5	735	21	102	87	+27.8	75	2	10

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2024年の農林水産物・食品 輸出額（1-12月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
加工食品	534,182	+4.8
アルコール飲料	133,739	▲ 0.5
日本酒	43,469	+5.9
ウィスキー	43,651	▲ 12.8
焼酎（泡盛を含む）	1,721	+4.8
ソース混合調味料	62,991	+15.9
清涼飲料水	57,433	+7.0
菓子（米菓を除く）	34,372	+11.9
醤油	12,189	+21.3
米菓（あられ・せんべい）	6,571	+7.7
味噌	6,313	+24.6
畜産品	139,553	+5.6
畜産物	107,346	+6.5
牛肉	64,828	+12.1
牛乳・乳製品	30,548	▲ 0.8
鶏卵	7,113	+1.8
鶏肉	2,481	▲ 2.9
豚肉	2,375	▲ 11.1
穀物等	74,185	+11.2
米（援助米除く）	12,029	+27.8
野菜・果実等	73,209	+9.1
青果物	48,855	+9.9
りんご	20,136	+20.5
ぶどう	5,932	+14.7
いちご	5,405	▲ 12.3
かんしょ	3,602	+24.3
ながいも	3,377	+0.2
もも	2,953	+13.2
かんきつ	1,487	+11.9
かき	1,131	+2.3
なし	1,022	▲ 14.2

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
その他農産物	155,893	+19.8
たばこ	19,947	+10.4
緑茶	36,380	+24.6
花き	9,816	+20.6
植木等	7,916	+26.9
切花	1,643	▲ 3.7
農産物計	981,812	+8.4
林産物	66,728	+7.5
丸太	28,227	+22.2
木製家具	8,142	+10.9
製材	7,388	+14.1
合板	7,299	▲ 25.7
水産物（調製品除く）	281,872	▲ 6.3
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	69,489	+0.9
ぶり	41,427	▲ 0.8
真珠（天然・養殖）	41,189	▲ 9.7
かつお・まぐろ類	20,095	▲ 11.3
いわし	10,812	+9.3
さば	9,808	▲ 19.5
鯨鯨	7,232	+8.0
たい	6,904	+4.8
さけ・ます	5,651	▲ 16.4
すけとうたら	1,148	▲ 36.2
さんま	435	+87.0
水産調製品	79,006	▲ 11.6
ホタテ貝（調製）	17,717	▲ 15.6
練り製品	11,271	+8.1
なまこ（調製）	10,501	▲ 38.0
水産物計	360,878	▲ 7.5
農林水産物・食品	1,409,418	+3.8

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※農林水産物・食品の合計額及び農産物計には、詳細の不明な農産物3,484百万円など合計4,790百万円を含む

品目別の状況（1-12月）

農林水産省
輸出・国際局

輸出重点品目に含まれる輸出額の増加が大きい10品目

品目	増加額（増加率）	主な増加要因
ソース混合調味料	+86億円（+16%）	米国や韓国等において、日本式カレーに対する人気の高まり、インバウンドによる日本食への関心の高まり等を背景に、外食需要が増加
緑茶	+72億円（+25%）	欧州等において、健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、ラテやスイーツ等の食品原料として、抹茶を含む粉末状茶を中心に需要が増加
牛肉	+70億円（+12%）	認知度のより一層の向上を背景として、米国、台湾、東南アジア、欧州等で商流が一層の拡大
清涼飲料水	+38億円（+7%）	米国において日本独特のラムネに対する人気が高まっているほか、香港において健康志向の高まり等により緑茶飲料の需要が増加
菓子（米菓除く）	+36億円（+12%）	米国や香港等において、一目で日本産とわかるデザインや味等を背景としたグミやソフトキャンディーの認知度が向上
りんご	+34億円（+21%）	台湾において、食味の良さに対する引き合いが堅調
米（援助米除く）	+26億円（+28%）	米国や香港等において、おにぎり屋や寿司店等の日本食レストランの増加等、外食向けを中心に需要が増加
日本酒	+24億円（+6%）	米国等において、日本食レストランの増加、インバウンドによる日本食への関心の高まり、現地在庫の解消等を背景に、外食需要が増加
醤油	+21億円（+21%）	EUやタイ等において、日本食レストランの増加、インバウンドによる日本食への関心の高まり等を背景に、外食需要が増加
味噌	+12億円（+25%）	米国等において、日本食レストランの増加、インバウンドによる日本食への関心の高まり等を背景に、外食需要が増加